

2026年3月1日

苫小牧市長 金沢 俊 様

少子高齢化・人口減少の加速化、新型コロナウイルス感染症等の影響や市民を取りまく状況が急激に変化している現在、IR誘致を断念して、新年度IR関連としての予算を全廃し、新しい街づくりへ転換することを要請いたします。

苫小牧市長におかれては、苫小牧市民のために市政にご尽力なさっておられることに敬意を表します。

北海道知事は、植苗地区に生息する希少動植物の保全対策の課題が生じ、2019年11月にカジノを含む統合型リゾート(IR)を誘致することを先送りすると明言し道の予算も計上は見送っています。

ラムサール条約に登録されているウトナイ湖周辺の自然環境を破壊するおそれがあり、ギャンブル依存症の犠牲者を生み出してしまうIRの誘致にいつまでもしがみついて傷が深くなならないうちに断念し、「市長の部屋」～私たちのまち苫小牧は、1973年に「人間環境都市」を宣言しています。人間主体のまちであることを前提に、子どもから高齢者まで、誰もが「このまちに住んでよかった」と思える苫小牧を築くため、市民総活躍で社会に貢献し、未来に向かって挑戦を続けています～ の言葉通り 将来の苫小牧市が明るく豊かな都市であり続けていかれるように、魅力ある街づくりへ市政を転換していただけるように要請いたします。

しかし 苫小牧市は、新年度予算の中で1100万円を「国際リゾート構想推進」の費用として計上しています。

少子高齢化と人口減への対策は急務となっております。IRではない、苫小牧市民に密着した地元産業・地元商業の振興発展、地元農業漁業の振興発展、医療・福祉・文化・教育環境が充実していくような魅力ある街づくりへ転換してほしいと要請いたします。

カジノ(賭博場)誘致に反対する苫小牧市民の会 共同代表 篠原 昌彦

カジノ(賭博場)誘致に反対する苫小牧市民の会 団体加盟

新日本婦人の会 苫小牧支部	佐藤 昭子
うたごえサークルわたぼうし	中村 千恵子
苫小牧地区労連	横山 傑
年金者組合 苫小牧支部	斉藤 秀夫
全胆振教職員組合	渋谷美和子